



南郷小学校

児童も先生も元気で明るい小学校を目指して！

校長 黒岩 惣一

【学校の概要】

平成22年度の本籍児童数は、46名（1年生5名、2年生10名、3年生5名、4年生8名、5年生8名、6年生10名）となっており、年々減少が続いている。平成23年度以降においてもこの傾向は変わらないと予想される。

こういった中、本年度より3年生と4年生が複式学級となり7学級編成（1年生、2年生、3・4年生、5年生、6年生、たんぼ学級、ひまわり学級）で学校がスタートした。
子どもたちは純粋・純朴であり、下級生と上級生が仲良く上級生が下級生を優しく遊んでいる姿をよく見かける。しかし、純粋・純朴であるがために自己表現等少し弱い面も見られる。

こういった現状等を踏まえ、本年度の学校経営の**基本方針**を「高知県教育振興基本計画」の基本的な理念である「郷土を愛し世界にはばたく、心豊かであらう創造性に満ちた子どもたちの育成」「学ぶ目的や意義を自覚し、自ら学ぶ力を持った人間の育成」および「学力向上・いじめ問題等対策計画」を土台として学校運営を推進し、これからの社会を「生きぬく」人間の育成を図る。

経営方針を、

- ①自分の命、人の命を大切に
する教育
- ②子どもの可能性を最大限に
伸ばし、生きぬく力を育む
教育
- ③心の教育の実践
- ④学校・家庭・地域との連携
による教育

学校目標を、

- 「自ら学び、すすんで行動する子どもを育てる」（なかよく、かしこく、たくましく）
- 「本校がめざす子ども像」として、
- 健康で明るく命を大切にできる子ども
- 段取りよく行動できる子ども
- ルールや礼儀が守れる子ども

●「この学校に来て良かった」、「この先生に習えて良かった」、「この友だちといっしょで良かった」と思える子どもを育成することとした。

また、本年度の校内研究のテーマに「豊かな心を持ち、主体的に学ぶ子どもたちを育てる」を設定し、学校として課題解決に向けて取り組んでいる。
具体的な取組内容として、
学習指導では、

- ★授業改善
- みんなが「わかる・できる」ことの喜びが味わえる授業づくり
- 研究授業の実践（算数科を中心として）
- 単元テストの実施
- 授業評価表の日常的活用
- ★基礎学習タイム（週4日間）
- 国語科の基礎学力定着（読解力）

- ★チャレンジタイム（火曜日6校時）
- 算数科と国語科の基礎習熟学習
- ★家庭学習の習慣化へ向けた指導
- 家庭学習の内容の工夫
- 家庭学習の手引き作成・活用

生活指導では、

- ★きらりカードの実施
- ★ひまわり・夢ノートの活用
- ★PTA等との連携
- ★QU検査の実施（年2回）
- ★学習と生活に関するアンケートの実施（年2回）
- ★いじめ・不登校・児童虐待のチェックリストの活用（年3回）
- ★ランランタイム（朝マラソン）の実施等に総合的かつ積極的に取り組んでいる。

地域との連携では、

- ★「南郷の子どもを育てる会」
- ★読み聞かせボランティア
- ★クラブ活動の指導
- ★誠心園とのふれあい活動
- ★米作り体験学習
- ★米作り体験学習等で地域の方々のご協力をいただき体験学習や安全指導等を実施している。
- 「平成22年度の標準学力調査」の結果を受けて年度当初から実施している取組の修正をメルクマールと位置づけて実施している。
- 先ず、標準学力調査の結果から子どもの実態を把握し、課題を明確にし、課題を解決するための具体的な取組について修正・強化を図っている。課題を克服するための取組

別表：平成22年度 標準学力調査の結果より

	2年	3年	4年	5年
国語	1.08	0.92	1.01	0.98
算数	1.14	1.14	1.13	1.08

※期待正答率を「1」とした本校の正答率指数 平成22年度実施

【※メルクマール：中間指標、目印】

①日々の授業
②チャレンジタイム
③基礎学習タイム
④家庭学習等
以上の取組において修正・強化等を実施している。
今後も既成概念にとらわれず柔軟に修正を入れ実態に即した学校経営に取り組みでいきたい。



和48年に建てられた「努力の碑」があり、その碑には、『上林暁先生につづけ 碑を建てて田ノ口の子等を激す』と記されています。



田ノ口小学は、私小説作家の上林暁が卒業した下田ノ口尋常小学校が前身です。学校には、昭

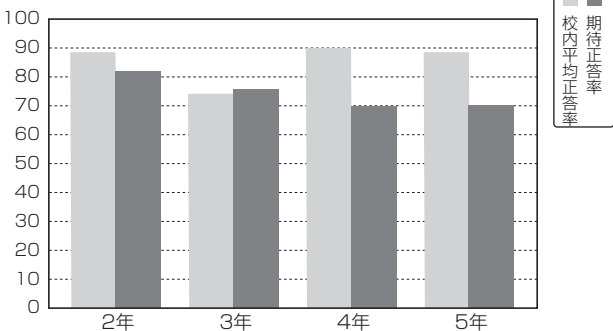
田ノ口小学校
 意欲的に活動し、心豊かにたくましく生きる児童の育成
 校長 石川 恭弘

本校は今年度、児童数70名、職員数11名で、昨年度に引き続き「意欲的に活動し、心豊かにたくましく生きる児童の育成」を学校の教育目標に掲げ、次のような児童像や学校像を目指しています。

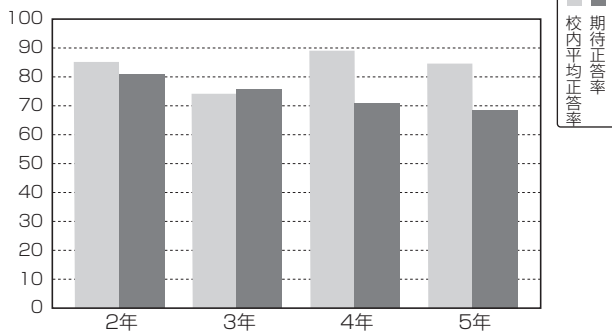
- **目指す児童像**
- たくましい子ども
- のびのびと表現する子ども
- くじけない子ども
- ちからを出しきる子ども
- **目指す学校像**
- あいさつの響きあう学校
- いじめのない、生き生きとした学校
- うつくしい学校
- えがおいっぱい为学校
- おもいやりのある学校

子どもたちが昨年度の学習の内容をどのくらい理解しているか、学んだことがどのくらい身についているかを調べる全国学力・学習状況調査や標準学力調査の結果から本校では、子どもたちの基礎学力の定着と授業力の向上、家庭学習の定着に向けて、重点的に取り組んできました。算数科の正答率に比べ国語科の正答率がやや低くなっているため、本校では国語科に重点をおいて取り組んでいます。

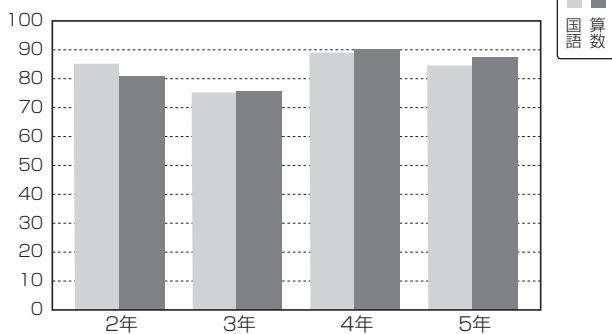
算数科



国語科



国語科と算数科の平均正答率



基礎学力の定着と自ら学ぶ学習態度の育成
 「わかる・できる」を
 目指した授業づくり

以上の結果を踏まえて次のような研究を進めています。

- 具体的には①授業力の向上、②基礎学力の定着、③家庭学習の定着を目指して、昨年度に引き続き取り組んでいます。
- ① 授業力の向上
- 全担任が、講師を招いて国語科で研究授業を実施
- 模擬授業を実施



また、本校では毎日朝10分間の読書タイムや読書まつり児童が読みたい本を購入する本の選書を行っています。

その他にも保護者との連携を図るため毎学期末に教育相談（個人面談）を実施しています。

- 授業評価を実施して集計結果を活用
- ② 基礎学力の定着
- 「読み・書き・計算」の具体的な到達目標（必達目標）を設定
- 学校として共通した授業中などの約束事（学び方の基礎）を設定
- ③ 家庭学習の定着
- 家庭学習の習慣化を図るために各学年が「家庭学習の手引き」で指導
- 家庭学習（宿題と自主学習）の目標を設定